

もったいないから ありがとうへ



特定非営利活動法人フードバンク京都
〒615-8141
京都市西京区椋原平田町14-31
電話 080-2741-1646
1fbkyoto@gmail.com
<https://www.foodbankkyoto.com/>
理事長 高島 由美



第11号 2024.10

CONTENTS

- 「良い働きかけ」 P.1
フードバンク京都 理事長 高島 由美
- 「誰かの希望の光へ」 P.2
亀岡市社会福祉協議会 地域支援課
- 「笑顔に感謝」 P.2
児童養護施設積慶園 服部 淑恵
- 「Thoughts on our school's support of Food Bank Kyoto」 P.3
Kyoto International School Emma Nakano
- 「幸せになるために」 P.4
スタッフ 榊原 佳代子
- 「利他の心に感謝」 P.4
スタッフ 岸田 宏
- 新規フードドライブぞくぞく増加中！ P.5
- フードドライブ実施中！ P.5
- SOSの現場から P.6
- Amazon欲しいものリスト紹介 P.6
- 活動実績・提供者様 P.7
- 畑だより P.8
- 編集後記 P.8

フードバンク京都のSNS



Instagram



facebook

良い働きかけ

フードバンク京都 理事長 高島 由美

フードバンク京都は、誰かのために自分を役立てるを旗印に個々のメンバーが自分の思いを体現しています。世の中に悲惨な状況が溢れる中「一人の人間に一体何ができるのだろうか？」と思う方もおられかもしれませんが。

では視点を変えて見てみましょう。煩雑な日常生活を送っていると気持ちが塞ぐこともあります。またストレスでイライラが募ることも起こったりします。そんな時に、たったひと言葉をお交わしただけで一瞬にしてそのモヤモヤを一掃し、心を爽やかにしてくれる人に出会うことがあります。

特に何かをしてくれたわけではありません。ただ気持ち良く挨拶をしてくれたり、笑顔を見せてくれた、そうしたことだけです。しかしその人の持つ利他の特性が相手に心地良さを与え、沈んでいた心を引き上げる作用をもたらしています。

反対にとっても気分を悪くさせる人もいます。これは相手にマイナスの感情を引き起こすきっかけをつくります。理不尽な行為を受け増幅する鬱憤を、誰かにぶつけたくなる感情を生み出すこともあります。

このように人は、常に周りの人に何らかの影響を与えたり受けたりしています。

つまり自分も周りの人に影響を与える存在だということになります。それならば、もし今から出会う人の心を引き上げ、温かく優しい気持ちで過ごすきっかけをつくれたら、その人を通して同じように心を引き上げられる人が出てくるのが考えられます。そしてその先もその先もその良い影響は続くかもしれません。こうして人に与える良い影響は、一人の人間の枠を超えて効果をもたらすこともあるのだと思います。

ただし悪い影響も同様の効果をもたらすことを忘れないようにしなければいけません。

自分の行為がそれに相応しい実りを得るとすれば、どちらの影響を与えることが明るい未来につながるのか自ずとわかります。受けた悪なる影響も悪なる連鎖を断ち切るために、善なる影響に変換するパワーが必要となってきます。さあ！ここは踏ん張りどころです！！

さて、フードバンク京都のスタッフは奉仕活動を通して見えな先の手相手にも良い影響を与えるために日々奮闘しています。一人の人間でも他者に良い働きかけができる力が備わっているはずで。私たち一人ひとりの挑戦はまだまだこれからも続いています。

誰かの希望の光へ

亀岡市社会福祉協議会 地域支援課

フードバンク京都さんとは、平成二十八年から連携させていただき、いつも本当にありがとうございます。今後も本当ありがとうございます。

亀岡市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の流行を境に貸付にかかる相談を通して、食の支援が必要な状況に置かれている方からの相談が増加している現状です。

手持ちのお金や食べるものが底を尽き、先のことを考える元気もなければ、希望を見出せなくなる方もいます。そんな中、フードバンク京都さんからの食料・フードバンク京都農園で育った野菜とともに、想いが詰まった心温まる支援物資を手に入れ、感動する方や元気になる方を何度も目にしてきました。フードバンク京都さんにお世話になるばかりではいけないという思いから、生活が困窮している方を対象に食料配布を行う事業を実施したり、地域の方からご寄付をいただいたお米や野菜を相談に来られた方にお渡しをする取り組みをしています。

困難な状況に置かれている方が、少しでも未来に希望を持っていただければ、それぞれの自立に向けてのお手伝いをする事ができればと考えています。そして、相談者・相談員のどちらにとっても、フードバンク京都さんの支援は、大変貴重であることを実感しています。

これからも、連携・協力できる関係性を継続できればと思っておりますので、今後もしよろしく願いいたします。

笑顔に感謝

児童養護施設積慶園 栄養士 服部 淑恵

児童養護施設積慶園では、本体施設（本館）に五つのホーム、地域に四つの小規模ホームがあります。現在五十七名の子ども達が生活し、それぞれのホームから、幼稚園・小学校・中学校・高校と通園・通学をしています。最近では制度も変わり、十八歳を超えても措置延長し、ホームから仕事に通ったり、大学へ行ったりする子もいます。

小規模ホームと本館の一つのホームでは、朝・昼（給食・弁当の日などもある）・夕の三食をホームごとに献立をたて、職員が作っています。そのほかの四つのホームは、栄養士がたてた献立で給食を実施しています。

フードバンク京都さんからの寄贈品は、本館にたくさん種類のものがあり、小規模ホームの職員は、珍しい野菜や果物をととても楽しみにしています。持って来て下さった品物を楽しそうに分けながら、どう調理したら良いかなどを調理師に聞いて新たなメニューに挑戦してくれています。芋のつるをきんぴらや天ぷらにして提供したり、ブルーベリーやラズベリーなどをジャムにしたりと工夫しています。無農薬で栽培された野菜もおいしいです。

玄関先で持参して下さるフードバンク京都のスタッフの方々が、元氣よく笑顔でいつも挨拶をしてくださり、こちらにも元氣がもらえます。

そして、商品を提供して下さる方々、その橋渡しをしてくださっているフードバンク京都の皆さまに感謝しております。今後とも子ども達に温かいご支援をお願い申し上げます。

Thoughts on our school's support of Food Bank Kyoto

Grade 5 student at Kyoto International School Emma Nakano

Kyoto International School and Food Bank Kyoto have been working very closely for two years. KIS donates food at least three times a year. FBK gave KIS great courage to work on the IB learner profile "Caring." KIS teachers and the PTA always try to teach the students about how important it is to donate food to single parents and refugee families experiencing a time of difficulty in their lives.

The feedback from the recipients is always positive which makes KIS students understand the value of always being caring and open minded. One project that was a big success was the Christmas project. KIS students donated wrapped up chocolates and sweets. We were very glad our presents cheered families up for Christmas. Another project that we did for FBK was when the grade five this year (grade four last year) had a business project when they sold sweets and donated the money to FBK. We donated at least 38,000 yen. This year on New Years Day, Noto peninsula had a strong earthquake and a tsunami. When that happened KIS donated food to them as well. FBK volunteers went all the way to Noto to provide food to those who were in need.

We think that we need more people to donate food because we still do not have enough to provide for every family that needs our help. We try our best to let more people know about FBK's goals and what their purpose of donating is. We should all encourage the younger generation to know earlier about donating and to understand the purpose of giving and being a caring person.

KIS students will continue donating and supporting FBK. We hope to always be helpful and caring and to provide enough food for many families and refugees.

私たちの学校からフードバンク京都への支援について思うこと

中野エマ（京都インターナショナルスクール5年生）

京都インターナショナルスクールとフードバンク京都はこの2年間とても親密に活動してきました。京都インターナショナルスクールからは1年に3回、食品を寄付しました。京都インターナショナルスクールは、国際バカロレアの使命の中の「思いやりのある人」（IB learner profile "Caring"）に取り組むにあたって、フードバンク京都からとても大きな勇気を与えてもらいました。京都インターナショナルスクールの先生やPTAの皆さんは、私たち生徒に、「ひとり親のご家庭や日本国内の外国にルーツを持つ皆さんの中には生活に厳しい方がおられること」「そのようなご家庭に食品を寄付することがいかに大切か」をいつも教えようとしてくださっています。

寄付を受け取ってくださった皆さんの様子はいつも好意的で、私たちに、いつも思いやりの心を持ち、オープンマインドでいることの大切さを教えてくれました。大成功を収めたプロジェクトの1つに、クリスマスプロジェクトがあります。私たちはチョコレートやお菓子をラッピングして寄付しました。私たちは、クリスマスに、私たちのお渡ししたプレゼントが、お渡しした方々を元気づけることができ、とてもうれしかったです。昨年、現5年生が4年生だった時、お菓子を販売し、その売上をフードバンク京都に寄付するというビジネスプロジェクトを行ったこともあります。私たちは38,000円ほどを寄付することができました。さらに、今年の元旦には、能登半島が強い地震と津波に見舞われました。その時も、京都インターナショナルスクールは、フードバンク京都に食品を寄付しました。フードバンク京都の連携団体が能登へ出向き、必要とされている方に食料を届けてくれました。

私たちは、支援を必要としているすべての家族の方にご支援することはまだできていないと思うので、もっとたくさんの方が食品の寄付をする必要があると考えています。フードバンク京都の目標や寄付の目的について、より多くの人に知ってもらえるようがんばっています。若い世代が、もっと早く寄付のことを知ったり、寄付の目的や思いやりのある人について理解したりできるよう、私たちが働きかけていかなければいけません。

私たちはこれからもフードバンク京都への寄付と協力を続けていきます。多くの困っているご家庭や日本国内の外国にルーツを持つ皆さんに、十分な食料をお届けしたいです。私たちはいつも社会の役にたつ、思いやりのある人でいたいと願っています。

幸せになるために

スタッフ 榎原 佳代子

子育てが一段落して、何か人のためになることがしたいと思っていました。そんな時ママ友がフードドライブのボランティア活動に参加していることをSNSで知りました。

食に興味のある私は「これだ！」と思い、まず始めたのは、寄付サイトから引き落とされる月々の寄付でした。それから細々と仕分けスタッフや配達スタッフとして参加するようになりました。配達先の方を含め、フードバンクに関わり、無私の心で活動する方々には頭が下がる思いです。実は、昨年社会人になった息子が、不登校で長らく引きこもっていました。その時に主治医から言われた言葉が忘れられません。

「社会的に自立することが目標ではありません。幸せになることです。親がいなくなっても、社会が支えてくれます。」

そのときは、自分の中で咀嚼できませんでしたが、幸せを感じることで、動き始めるということだったのでしよう。

社会の仕組みが変わり、親族や地域とのかかわりが疎遠になる中、「社会を支える」ことが重要になっています。緊急支援を求める人も増えていきます。一人の力は小さくても、みんな集まれば大きな力となる。フードバンクはそんなことを教えてくれました。困っている人が置き去りにされない、幸せになる社会みんなで作っていませんか。

利他の心に感謝

スタッフ 岸田 宏

フードバンクに、日々ご支援くださる方々の善意のお気持ちには、本当に頭が下がります。

ご寄付によって、いろいろな事情により社会の支援が届かず、食べることに困っている方々に食品をお届けすることができません。

食品等を提供してくださる方々は、もちろん、目的をご存じで寄付してくださる方々が多くおられますが、ただ何かをしたい、人の役に立ちたいというお気持ちの方々も沢山おられると思います。また、継続的に米、野菜、菓子、保存食等の食料品、日用品、金銭をご寄付くださる方、フードドライブ店舗常設のボックスに、自宅にある物、買った品物を入れてくださる方、郵送で送付くださる方、ネットで送付くださる方、持ち込んでくださる方等、なかには電車とバスを乗り継いで、わざわざ沢山持ち込んでくださる方もおられます。名前も言わず届けてくださる方もおられます。皆様、本当にありがとうございます。

誰に感謝されるでもなく、人が見ていようが見ていまいが、他人のために何かしたい、役に立ちたい、よくしてあげようという優しい思いやりを持った「利他の心」を持っておられる方々だと思います。

被支援者の方が、私たちの支援を卒業し自立して生きていくことに、とても嬉しく自らの喜びのように感じます。

これからも思いやり、支え合いのある社会であって欲しいと願います。今後、支援いただいたお気持ちを、熱量の高いボランティアメンバーと共にお届け先に伝えて繋いでいきたいと思えます。引き続きご支援をよろしく願います。



フードバンク京都の地道な開拓が実りつつあります！
今回は新たにフードドライブをはじめてくださった2つの施設をご紹介します。



第1土～
日曜、第3
火～水曜

コープ 御所南
京中区烏丸通二条上る蒔絵屋町258番地
☎075-241-7780



烏丸通り沿いにあります。
駐車場がありませんのでお気
をつけてください。



ファミリーマート 大山崎町店
京都府乙訓郡大山崎町大山崎傍示木1-4
☎075-959-0058



フードドライブはレジ前に設
置されています。

フードドライブ実施中！

期間中は施設内に専用の箱を用意しています。ぜひご家庭にある食品をお持ちよりください♪集められた食品はフードバンク京都に寄付されます。実施する店舗及び施設は下記をご覧ください。

- ファミリーマート 桂西滝川町店(常設)
- ファミリーマート 向日南淀井店(常設)
- ファミリーマート 長岡京野添店(常設)
- ファミリーマート 今里二丁目店(常設)
- ファミリーマート 大山崎町円明寺店(常設)
- ファミリーマート 長岡京調子店(常設)
- ファミリーマート 宇治中川原店(常設)
- ファミリーマート 大山崎町店(常設)
- アル・プラザ亀岡(常設)
- くわの実保育園(常設)
- フレンドマート・G宇治市役所前店(常設)
- フレンドマート梅津店(常設)
- イオンフードスタイル東向日店(常設)
- イオンフードスタイル山科柳辻店(常設)
- パロー下鳥羽店(常設)
- ダイエー桂南店(常設)
- ダイエー瀬田店(常設)
- グルメシティ上桂店(常設)
- グルメシティ北山店(常設)
- グルメシティ嵯峨店(常設)
- KOHYO 京都店(常設)
- KOHYO 北大路店(常設)
- KOHYO 上七軒店(常設)
- KOHYO 八幡店(常設)
- MaxValu 藤森店(常設)
- 認定NPO法人ドネーションシップ わかちあい(常設)
- パチンコ山科KBホール(景品のご寄付)
- 東山社会福祉協議会(常設)
- 京都生協 コープらくさい(第1土～日曜、第3火～水曜)
- 京都生協 コープ下鴨(第1土～日曜、第3火～水曜)
- 京都生協 コープきぬがさ(第1土～日曜、第3火～水曜)
- 京都生協 コープにしがも(第1土～日曜、第3火～水曜)
- 京都生協 コープいわくら(第1土～日曜、第3火～水曜)
- 京都生協 コープ御所南(第1土～日曜、第3火～水曜)

対象となる食料品



未開封であること

賞味期限まで2ヶ月以上あること (出来る限り)

常温保存が可能であること

製造者または販売者が表示されていること

成分表示またはアレルギー表示があること

※アルコール類・手作り品は上記条件に当てはまるものであっても対象外になります

SOSの 現場 から

高島 京子

フードバンクスタッフ

「もったいないからありがとう」のキャッチフレーズをかかげていますが、フードバンク京都にご寄付いただく食品の中には、それだけではない様々な想いが見受けられることがあります。ある日、スーパー等にご協力をして頂いているフードドライブのボックスを回収すると、スーパーのレジ袋の中に沢山のレトルト食品と、それを購入した際のレシートが入っていたことがありました。これは家に余っていたものではなく、わざわざ購入して下さったのではないだろうかと思いました。他にも、ゲームセンターにある UFO キャッチャーで、食品の景品を取られ、袋に沢山のカップラーメンやお菓子を入れて、両手に持って事務所まで持ち込みして下さいる方もおられます。事情をお聞きしますと、最初は

食べきれず知人などに配っていたけれど、フードバンクという活動があることをネットで知り、役立つことが出来るのなら寄付として持っていこうと思って下さったそうです。そして、もうすぐクリスマスですが、この時期になると子ども達の為にクリスマス用のお菓子をご寄付して下さる方もおられます。また、この活動を立ち上げ間もない頃から、毎月必ずインスタントラーメンを今でも送り続けて下さっている方もおられます。

広報誌9号の時に“Amazon 欲しいもののリストを始めました”とお知らせを掲載しましたら、沢山の方たちから色々な食品が届き、ある方は難病で長期療養されているにも関わらず、「一人でも多くの方が食を通して笑顔になれますように」とAmazon 欲しいもののリストで食品を送って下さいました。

ご寄付の多くは食品だけが事務所に届くので、ご協力して下さった方の顔を見ることは、ほとんどありませんが、余ってなくても、何か力になりたいと思って下さっているのかなと、目には見えない想いを沢山感じる事があります。ご紹介したのはごく一部ですが、頂きました食品の数だけ想いがあり、沢山の想いで支えられてフードバンクの活動が成り立っているのだと思いました。その想いをこれからも必要とされている人のもとへ届けていきたいと思ひます。

Amazon 欲しいもののリスト ご紹介



Amazon欲しいもののリストとは、自分のほしい商品をあらかじめ登録しておくことで、ほかの人に自分がほしい商品をお知らせできる機能です。フードバンク京都はこの機能を利用して、足りない食品やいただければ非常に助かる食品を掲載しています。

Amazon欲しいもののリストからお買い上げ下さった（寄付して下さった）食品は、アマゾン倉庫から直接フードバンク京都に配送されます。（匿名での配送も可能です）



活動実績 (2024年4月～2024年9月)

(1)施設などへの定期的な支援活動	
① 母子生活支援施設	3カ所/55回 /2,003kg
② 児童養護施設・更生保護施設など	5カ所/61回 /1,966kg
③ 子ども食堂	10カ所/63回 /2,015kg
(2)支援活動団体への支援活動	
支援団体	8カ所/28回 /1,333kg

(3)個人への緊急支援	
行政等を通じた個人への緊急支援	376回 /7,873kg
(1)～(3)支援活動の合計	583回 15,190kg
(4)フードドライブ	
定期:小売店(企業数7/店舗数31)・ その他3カ所 単発:16回	4,355kg
(5)農園による生産活動	
玉ねぎ、にら、絹さや、スナックエンドウ、実エンドウ、スプラウト、ミニトマト、ゴーヤ、ささげ、イチジク、スイカ、いちご、ナス、ピーマン、シシトウ、万願寺シシトウ	

助成金 (2024年4月～2024年9月)

- 京都市「フードバンク団体による食品ロス削減に資する取組支援助成金」
- 農林水産省「フードバンク活動強化緊急対策事業」専門家派遣
- SOMPO「認定NPO法人取得資金助成」
- 子ども家庭庁「食料支援がつかなくひとり親等支援活動助成事業」

講演・取材等 (2024年4月～2024年9月)

- 6月 NHK京都放送局の取材(6/28放映)
- 6月 京都経済短期大学での講義 ゲストとして活動紹介
- 7月 京都府農業会議の取材(日本農業新聞に掲載)
- 8月 週刊しんぶん京都民報の取材

ご提供いただいた皆さま【食料品】(2024年4月～2024年9月) 順不同

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 池坊 ■ 一般社団法人京都文化・芸術・スポーツ振興会 ■ エムケイホールディングス株式会社 ■ 株式会社オクペイント ■ 株式会社KTGホールディングス ■ 岸本農園 ■ 京都葵ライオンズクラブ ■ 京都インターナショナルスクール(賛助会員) ■ 京都薫風ライオンズクラブ ■ 京都市エコロジーセンター ■ 京都市教育委員会体育健康教育室 ■ 京都市東九条地域包括支援センター ■ 京都紫明ライオンズクラブ ■ 京都パレスライオンズクラブ ■ 京都弁護士会 ■ 近畿農政局 ■ 公益財団法人京都市学校給食協会 ■ ことらいふ ■ 柴田農園 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 浄念寺 ■ 晴鴨楼 ■ 生活協同組合コープ自然派京都 ■ 空庭テラス京都別邸鴨川 ■ コストコホールセールジャパン株式会社 ■ 中村くらしを見直す会 ■ 初音学区自主防災会 ■ ビバセカンドライフ ■ ホテルフォルツァ京都四条河原町 ■ 浄土真宗本願寺派 本願寺西山別院 ■ 明治ホールディングス株式会社 ■ 萬福寺 ■ 矢野食品株式会社 ■ 有限会社 京家旅館 ■ 夜回りの会 ■ 来迎寺 ■ 大和リース株式会社 ■ ローム株式会社 |
|---|--|

ご寄付【金銭】(2024年4月～2024年9月) 順不同

- かみひとねっとわーく
- 京都インターナショナルスクール(賛助会員)
- 個人の単発ご寄付(うち 30,000 円以上の方 3 名)12 名
- 継続のご寄付(賛助会員等月1,000円以上の継続寄付)22名

※その他、多くの個人さまからもご提供いただいておりますが、個人情報保護のため伏せさせていただきます。

今はこんなお野菜も
育てています！



フードバンク京都にはボランティアスタッフが無農薬でお野菜を育てている農園があります。このコーナーでは、今育てているお野菜やスタッフをご紹介します。

「農園活動の裏方をやる」

三年程前、図書館で偶々手にした社協の機関誌で、「フードバンク京都（記事は農園作業の紹介）」の存在を知りました。現役引退後には「社会奉仕」で社会に少しは恩返しをしたいと思っていましたが、これが長年探していたもの（個人的には家庭菜園の趣味あり）だと感じ、早速活動の仲間に入れてもらいました。そして仲間には、働きながら貴重な自分時間をさいて、献身的ともいえる活動をされている方々が沢山いることを知りました。



畑メンバーをご紹介します



田中 武夫

後期高齢者の私に何かうまい役割はないかと考えて、体力も要する野菜栽培は若い仲間に任せ、雑務を担当しようとして先ずは物置小屋の整備をすることにしました。農具や細々とした備品などが整理整頓できる棚の作製や、雨漏りしていた屋根の葺き替え等です。次は、長年手入れがされていなかった農園周辺の果樹（柿・桃・イチジク等）の世話が無謀を承知で素人なりに挑戦してみようと思立ちました。配食される主食・副菜等の他に果物が加われば、食卓に笑顔の団欒も生まれるのではと思ったのです。さて、次の栽培経験なしの挑戦が葡萄や蜜柑です。葡萄、特にシャインマスカットや巨峰は原産地が地中海のため雨に弱く、屋根付きのぶどう棚が必要と言われており、その棚作りも行いました。この時、費用の削減が裏目に出て、冬の強風にあおられて二度ほど屋根が飛ばされましたが、仲間の協力で何とか修復できました。そしてこの夏は、西瓜栽培に挑戦中です。一応獣害対策の真似事をしましたが、あにはからんやいと簡単に最初の一個をナニモノかに奪われました。自然や野生はやはり脅威だと実感です！！

取り留めなく活動の一端を紹介しましたが、私も少なくとも果物がたわわに実るまでは何とか農園活動を続けたいと思っています。もう歳ですが(笑)「自分より困っている人々が少しでも笑顔になれるように」と日々活動している志の高い仲間と充実した時間を過ごせたら、私の人生も満更ではなかったと思えるに違いありません。

編集後記

子どもの頃のちよつと思議な体験です。私が小学4年生ころ、家では一匹の犬を飼っていました。ちつちやな白いプードルのオスで名前はジョンでした。

ある日、放課後に一人でからから歩いてる時だったか、田舎の田んぼ道で黒と茶の混じった雑種の中型犬に出会いました。その当時から感情移入が異常だった私は「野良犬や、可哀なやつや...」とその犬を家に連れて帰り、親に、自分が面倒をみるから、と頼み込んでその犬も家においてもらおうとしました。名前は毛の色からクッキーにしました。でも家にはすでにジョンがいて、もう一匹飼えるようなお金もなかったため、クッキーをこれからどうするのかで両親の喧嘩が増えて、なんだかとても辛い毎日が始まりました。クッキーは人間に飼われていたことがあると確信するくらい人懐っこく、吠えたり、おびえたりしないすごく賢い犬でした。

とりあえずクッキーの行先が決まるまでは家で飼うことになり、毎日の散歩は私がしました。何も知らないクッキーは散歩の時間になると目を輝かせて飛び跳ね、それを見ると家でのまま飼うことが無理なことを知っている私は胸がきゅーとなりました。そして何か月か経って、ようやくクッキーの行先が他県に決まり、お別れをすることになりました。寂しくて寂しくて、本当にクッキーが行った先で幸せになれるのかも心配で、お別れした日の記憶がありません。

それから半年ほどした頃、夕方ジョンの散歩に出かけた私はいつもの田んぼ道で、遠く前方におばさんが茶色い犬を散歩させているのを見ました。それは遠くからでもはつきりとわかるくらいクッキーにそっくりでした。近づいてすれ違う時におばさんに話しかけられてお互いの犬の名前を言い合おうと、おばさんは「この子はクッキー」というのを笑いました。私はびっくりして、でもなぜか心のどこかで「やっぱり！と思ったりもして、ドキドキしながら帰りました。帰りながら、あれはきつと神様がクッキーはもたらされた先でも元気にしているよ」と私にみせてくれたんだと、「理由も無いのに確信できる」という不思議な感覚になったのを覚えています。

理由も無いのに確信できる時。それは、目に見えない愛やパワーが実は自分をいつも応援してくれている、ということに気づける時かもしれません。

私が二度目の「理由も無いのに確信できる時」を経験したのは中学三年生の時です。この話はまた次回の編集後記で！

加藤 小真子